



# 男女共同参画推進委員会

第82回

## マザーテレサの言葉から

安中市男女共同参画推進委員会委員

篠原 晴美



私は民生・児童委員、主任児童委員という立場でこの委員会に参加させていただいています。今回のエッセイは、その立場からと言うより常々私個人が思っている事を書かせていただきたく思います。

私の尊敬する修道女マザーテレサが、「私はなぜ男性と女性が全く同じであると考え、男女間の素晴らしい違いを否定する人がいるのか理解できません」と言葉を残しています。私はこの言葉を見た時、本当にその通りだと感動しました。

先日、子ども達の男女参画に対する作文を読ませていただく機会がありました。興味津々で読んでいくうちに、誰もが皆、男女が同じ職業につき、同じように家事をし、子育てをするべきという文言が多い事が気になりました。人は皆、公平であるべきは当たり前ですが、男女という性別の違い二種類の人間が、なぜ存在するのかと考えた時、すべて同じ事をするのが本当のあるべき姿なのか、学校ではどんなふうに教えているのか、家庭ではこの事についてどう考え、話し合っ

ているのだろうか疑問に思ってしまった。

男女参画という言葉が出た頃から、上辺だけ平等平等と言いつつ本質が理解されない言葉が一人歩きしてしまっているような気がしてなりません。勿論、職業の選択の自由、待遇面での差別をなくし助け合って生活するという事は大切です。ですが、男女平等の看板にとらわれて肩ひじを張って競い続ける事が本当に良い事なのかも一度考えてほしいと思っております。

例えば、身体の造りが違う事で女性が妊娠出産、母乳を与える事、それをしない場合でも女性の感性、視点というのは男性と違う役割を担うものでありますし、一方男性も妊娠出産は無理でも多くの場合、筋力などでは女性よりも優れていた男性ならではの発想で女性とは違う役割を担う事もあるでしょう。

人間として大事な事は、男女の相互理解と適材適所で責任を持ち、相手の立場に立ち、共に協力しあう事だと思えます。

人はそれぞれ与えられた能力、またそれを活かす能力は異なっています。すべての人がよりよい幸せな人生を送るために、相手を尊重し、マザーテレサが言うように、素晴らしい違いを認め合う事ができたらなによりだと思います。

### 問合せ▼

困市民生活課市民協働係（☎内線1139）

## 消費生活センターからのお知らせ

「無料」のものが6万円

### 廃品回収サービスのトラブル

#### 【事例】

「無料」とアナウンスしながらトラックで巡回している業者を呼びとめ、廃品回収を依頼した。作業前に無料であることを確認したが、不用品を軽トラに積み終えたとたんに6万円を請求された。話が違

うと抗議したが、「回収代金は無料だが、積み込み料金は発生する」と言われた。しつこく請求されたので、仕方なく手持ちの3千円だけ支払った。残金は近いうちに取りに行くと言われたが支払わなければいけないのか。領収書もないし業者の連絡先も分からない。



#### 【ひとことアドバイス】

★「無料回収」をうたって巡回している廃品回収業者に依頼しても、積み込み時に料金を請求されるケースがあるので注意しましょう。

★粗大ごみや不用品の処分は、お住まいの市町村のルールに従って行いましょう。処分について不明な点がある際は、市町村に確認しましょう。

★一般廃棄物の収集・運搬は市町村の許可を受けた事業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルとなる場合もあるので避けましょう。

★市の職員を名乗り、「粗大ごみを家まで引き取りに行く」と言う電話があったとの問合せがありました。市ではそのようなことは行っていません。

資料提供…独立行政法人国民生活センター

【まずは相談しましょう】  
わからないことや困ったこと、少しでも不審に感じたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

相談日時▼月々金曜日（祝日を除く）午前9時～午後4時  
問合せ▼安中市消費生活センター（☎382-2228）